

東日本大震災により
被災された皆様及び関係者の方々へ
心よりお見舞い申し上げます。

吉岐市議会

◇主な内容（平成23年第1回定例会）

3月定例会「こんなことを決めました」

- 平成23年度予算 2 P～
- 平成22年度補正予算 6 P～
- 一般質問（12人が登壇） 9 P～
- 「市民の声」 15 P
- 議会だよりクイズ 16 P

（表紙写真 石田町筒城浜）

平成23年度当初予算 決めました。



◇一般会計 総額 227億3,500万円 全員一致 可決

一般会計歳出予算の内訳

議会費	2億 696万円	土木費	14億 5,217万円
総務費	24億 9,378万円	消防費	6億 7,163万円
民生費	56億 7,843万円	教育費	24億 6,862万円
衛生費	39億 4,624万円	災害復旧費	330万円
農林水産業費	21億 7,632万円	公債費	31億 8,368万円
商工費	4億 799万円	その他	4,588万円

全国離島交流ゲートボール親善大会 (総務費)

開催委託事業費 2,200 万円



練習は欠かさず、真剣プレーばい!! (石田コート)

たかのはら憩いの森公園 (衛生費)

改修事業費 3,050 万円



草スキー場や遊具などが整備されます。

有害鳥獣被害防止対策 (農林水産業費)

イノシシ・カラス・シカ捕獲 1,248 万円



シカが生息する若宮島 (勝本町)

福岡事務所開設 (商工費)

観光物産情報発信事業費 1,152 万円



ベイサイドプレイス博多切符売り場横に開設

中学校OA機器清算金

中学校統廃合による中途解約金 2,900 万円
契約方法等が不透明なため条件付きとした。



中学校パソコン教室

中学校スクールバス・ボート (教育費)

運行業務委託費 5,600 万円



スクールバスの安全祈願 (3/26)



ほくたちの未来をよろしく!

◆国民健康保険特別会計

総額 46 億 7,686 万円 全員一致 可決

国民健康保険は、加入者が納める保険料（税）や国の補助金によって市が運営している。

加入者（被保険者）は通常医療費の3割を負担し、残りを市が負担している。

国保でホッ!

◆後期高齢者医療特別会計

総額 2 億 9,421 万円 全員一致 可決

75 歳以上の方全員と 65 歳以上の障害のある方が対象で、県後期高齢者医療広域連合で運営されており、病院窓口での負担は通常 1 割です。

◆介護保険特別会計

総額 29 億 620 万円 全員一致 可決

40 歳以上の国民が納める保険料によって運営され介護認定された高齢者等がサービスや支援を受けられる保険制度で、訪問介護、通所介護サービス、住宅改修、福祉用具の貸与などが受けられる。

◆簡易水道特別会計

総額 9 億 2,087 万円 全員一致 可決

簡易水道は、計画給水人口が 101 人以上 5,000 人までの水道であり、23 年度は国庫補助による基幹改良事業で湯本浦地区と石田地区の配水管布設等を計画している。

◆下水道特別会計

総額 4 億 1,965 万円 全員一致 可決

公共下水道は郷ノ浦町武生水地区の一部を処理区とした都市計画事業で、芦辺町の恵美須・瀬戸・芦辺地区及び石田町山崎地区が漁業集落排水整備区域、その他の地区が合併処理浄化槽の設置区域である。

◆特養老人ホーム特別会計

総額 15 億 7,782 万円 全員一致 可決

介護保険制度で「要介護」の認定を受けた方が入所できる老人保健施設で、施設の老朽化に加え入所待機者が多いことから、移転新築をするための施設整備費が盛り込まれている。

◆三島航路特別会計

総額 1 億 2,374 万円 全員一致 可決

大島・長島・原島の 3 島と郷ノ浦を結ぶフェリーみしまの運行業務で、三島地区住民の生活の基盤で、国県の補助金 5,600 万円等で運行されている。

◆農業機械銀行特別会計

総額 1 億 2,306 万円 全員一致 可決

農作業の合理化と農地の基盤整備のため、農業経営の安定と生産性の向上を目的とした事業であり農地の耕起、代かき、飼料作物の収穫作業などに活躍している。

◆病院事業会計

全員一致 可決

市民病院とかたばる病院の運営をしている。どちらも医師確保等の問題を抱えているが、地域医療には欠かせないものである。

◆水道事業会計

全員一致 可決

一般的に上水道と呼ばれる水道事業は、計画給水人口が 5,001 人以上の水道施設であり、独立採算方式で運用される企業会計で、該当地域は、郷ノ浦町の武生水・渡良・坪・田中触の一部である。

3月議会で決めたこと 議案内容と審議状況（予算外）

	議 案 内 容	付託委員会 (審議結果)	本会議採決	
議案1	行政組織改正に伴う関係条例の整理 水道事業の設置及び水道資源保護条例中の水道課を建設部上下水道課に、獣医学修学資金貸与条例中の産業経済担当理事を農林水産部長に改める。	総務文教 (可決)	全員一致	可決
議案2	付属機関設置条例の一部改正 —支国博物館等整備推進協議会の廃止等。	総務文教 (可決)	全員一致	可決
議案3	特別職非常勤職員の報酬等一部改正 農業委員と学校医・学校歯科医の報酬等条例の一部改正。	総務文教 (可決)	全員一致	可決
議案4	市職員給与条例の一部改正 救急により時間外勤務する管理職に新たに2,500円の手当を支給する。	総務文教 (可決)	全員一致	可決
議案5	防災行政無線施設条例の一部改正 ケーブル(有線)事業の開始に伴い、無線施設の一部を廃止する。	総務文教 (可決)	全員一致	可決
議案6	防災行政無線戸別受信機設置事業分担金徴収条例の廃止 防災無線の戸別受信機を廃止のため廃止する。	総務文教 (可決)	全員一致	可決
議案7	教育振興基金条例の一部改正 市立中学校の統廃合に伴う条例の調整。	総務文教 (可決)	全員一致	可決
議案8	地域福祉活動拠点施設条例の一部改正 石田町生きがい広場を石田町総合福祉センター野外施設とし、他施設との統一を図る。	厚生 (可決)	全員一致	可決
議案9	老人憩いの家条例の一部改正 郷ノ浦町庄触老人憩いの家が、用途廃止されるため削除する。	厚生 (可決)	全員一致	可決
議案10	特別会計条例の一部改正 老人保健特別会計が後期高齢者医療事業への移行期間が終了し廃止する。	厚生 (可決)	全員一致	可決
議案11	国民健康保険条例の一部改正 法の改正により、4月から出産一時金が35万円から39万円に改正となる。	厚生 (可決)	全員一致	可決
議案12	沓崎葬斎場条例の一部改正 市外者の(火葬)使用料を市内者と同一料金(2割減)にする。	厚生 (可決)	全員一致	可決
議案13	公共下水道区域外流入に関する条例制定 公共下水道区域外からの汚水流入についての条例を整備する。	産業建設 (可決)	全員一致	可決
議案14	市民病院、かたばる病院の診療費・使用料・手数料徴収条例の一部改正 双胎児の場合や、時間外・休日・深夜の分娩料金を別途新設する。	厚生 (否決)	全員反対	否決
議案15	公の施設の指定管理者の指定(青嶋公園) 芦辺町 青嶋公園の管理者として沓崎市森林組合を指定する。	総務文教 (可決)	全員一致	可決
議案16	公の施設の指定管理者の指定(出会いの村) 郷ノ浦町 出会いの村の管理者として沓崎出会いの村振興会を指定する。	産業建設 (可決)	全員一致	可決
議案17	公の施設の指定管理者の指定(猿岩物産館) 郷ノ浦町 猿岩物産館の管理者として沓崎出会いの村振興会を指定する。	産業建設 (可決)	全員一致	可決
議案18	公の施設の指定管理者の指定(風民の郷) 勝本町 沓崎風民の郷の管理者として沓崎風民の郷振興会を指定する。	産業建設 (可決)	全員一致	可決
議案19	公の施設の指定管理者の指定(印通寺共同店舗) 石田町 印通寺共同店舗の管理者として石田町商店連盟を指定する。	産業建設 (可決)	全員一致	可決
議案20	公の施設の指定管理者の指定(国民宿舎沓崎島荘) 勝本町 国民宿舎沓崎島荘の管理者として財団法人沓崎市開発公社を指定する。	産業建設 (可決)	全員一致	可決
議案21	土地の取得 国特別史跡「原の辻遺跡」の芦辺町深江鶴亀触27,584㎡を取得する。	総務文教 (可決)	全員一致	可決
議案22	地域情報通信基盤整備工事(第1工区)請負契約の変更 三島地区海底ケーブルの陸揚地の変更等により契約金を増額する。	3/7本会議	賛成多数	可決
議案23	地域情報通信基盤整備工事請負契約の変更 ケーブル工事の自営柱・支線追加と樹木伐採作業追加で契約金を増額する。	3/7本会議	賛成多数	可決
議案24	一般廃棄物最終処分場(本体)建設工事請負契約の変更 2,541万1,050円の増額で契約金額を3億1,416万1,050円とする。	3/18本会議	全員一致	可決
議員発議 1	沓崎市議会委員会条例の一部改正 行政組織条例の改正(機構改革)に伴う委員会所管の一部変更。	3/18本会議	全員一致	可決
議員発議 2	議会改革検討特別委員会の設置に関する決議 議会基本条例制定について研究するため。	3/18本会議	全員一致	可決
議員発議 3	原子力発電所の更なる安全性の確保を求めるための意見書の提出 原子力発電所の安全性等を確立するための意見書を政府へ提出する。	3/18本会議	全員一致	可決
同意1	沓崎市教育委員会委員の任命 勝本町 中原正博氏を任命することに同意する。	3/18本会議	全員一致	同意
諮問1	人権擁護委員候補者の推薦1号 郷ノ浦町 平田タカ子さんを推薦することに了承する。	3/18本会議	全員一致	了承
諮問2	人権擁護委員候補者の推薦2号 郷ノ浦町 山川和夫氏を推薦することに了承する。	3/18本会議	全員一致	了承

議案質疑 もうちょっとくわしゅう!

その後購入の予定。

※情報通信基盤整備 工事請負契約の増 額について

光ケーブルの整備に当初契約金額から約3億円の増額であるが、その経緯とは。

FM告知(防災放送)希望者が400件ほど増えたことと、九州電力とNNTの電柱が強度不足ということから新たに自営柱を設置しなければならなくなったこと、及びケーブル配線に伴う樹木の伐採が大幅に増えたこと、またテレビ局のセンター設備と機器の増。

自営鋼管柱はNNTの電柱より小さいが、強度耐用年数は、設計上20年。

工期も延長となっているが、島外からの雇用従事者数は、1日280人ほどであるが、工期達成のため雇用は300人を超す状態。

※市民病院の分俸料金に関する使用料等の条例改正について

市内民間病院との違いは、市民病院と民間病院の分俸料の額は同じで、時間外等の別途料金も無い。

※新年度一般会計
予算について

市税等の歳入で、た

費用負担等は契約書

今回購入する土地の中に「船着き場」は入っていないのだが、特別史跡として申請し将来的に購入する予定か。

特別史跡の指定地内では、市公示価格により田畑1㎡あたり1千500円、指定外では非公示価格を基準に1㎡あたり1千円としている。

※土地の取得について
原の辻遺跡の土地取得購入単価は。

特別史跡の指定地内では、市公示価格により田畑1㎡あたり1千500円、指定外では非公示価格を基準に1㎡あたり1千円としている。

今回購入する土地の中に「船着き場」は入っていないのだが、特別史跡として申請し将来的に購入する予定か。

「船着き場」も特別史跡として認定を受け、

費用負担等は契約書

今回購入する土地の中に「船着き場」は入っていないのだが、特別史跡として申請し将来的に購入する予定か。

等にも明記し、断線した場合や不慮の災害など負担の取り決めをしておくべきである。

明文化し、開示する。

自営鋼管柱はNNTの電柱より小さいが、強度耐用年数は、設計上20年。

工期も延長となっているが、島外からの雇用従事者数は、1日280人ほどであるが、工期達成のため雇用は300人を超す状態。

※市民病院の分俸料金に関する使用料等の条例改正について

市内民間病院との違いは、市民病院と民間病院の分俸料の額は同じで、時間外等の別途料金も無い。

※新年度一般会計
予算について

市税等の歳入で、た

費用負担等は契約書

今回購入する土地の中に「船着き場」は入っていないのだが、特別史跡として申請し将来的に購入する予定か。

特別史跡の指定地内では、市公示価格により田畑1㎡あたり1千500円、指定外では非公示価格を基準に1㎡あたり1千円としている。

ばこ税が増額となっている。喫煙者は減少していると思うが増収の理由は。

喫煙者が減り販売数は約2割の48万箱の減少と見込んでいるが、昨年10月の税制改正により100円の値上げとなり、たばこ税が1箱あたり4割アップの増税となったため664万1千円の増収が見込まれる。

全国離島親善ゲートボール大会の来島者数と競技会場は。

全国から80チーム、560人と大会関係者約170人で、総勢730人の内、島外からは約500人の来島を見込んでいる。競技会場は芦辺町のふれあい広場に16コートを予定し、雨天の場合は市内4ヶ所の屋根付きゲートボール場を利用する予定。

イルカパーク管理運営費3千333万円の内容は。

イルカパーク管理運営費3千333万円の内容は。

イルカパーク管理運営費3千333万円の内容は。

イルカパーク管理運営費3千333万円の内容は。

イルカパーク管理運営費3千333万円の内容は。

イルカパーク管理運営費3千333万円の内容は。

西部開発センター	1,151万7千円
壱岐文化ホール	5,876万6千円
離島開発総合センター	796万5千円
農村環境改善センター	748万2千円
松永安左右衛門記念館	355万9千円
風土記の丘	489万0千円
小金丸幾久記念館	177万5千円

社会教育施設の各管理費用は。
左記一覧表のとおり
(人件費は含まない)

イルカの飼育に係わる人件費やえさ代等の飼育管理委託料として2千300万円、パンフレットの制作や光熱費・修繕料に約200万円、イルカ3頭の購入費200万円と、受付の臨時職員3名の賃金として430万円ほど。

3月定例会 審議結果 (全員一致以外のもの)

区 分	結 果	賛 成	反 対	久 保 田	呼 子	音 嶋	町 田 光	深 見	町 田 正	今 西	市 山 和	田 原	豊 坂	中 村	鵜 瀬	中 田	榊 原	久 間	大 久 保	瀬 戸 口	市 山 繁	小 金 丸	牧 永
議案14	否決	0	19	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議長
議案22	可決	18	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議長
議案23	可決	18	1	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

○・・・賛成 ×・・・反対

1月26日 臨時会で決めたこと。

※平成22年12月議会で否決した3件の議案について原案を修正し再提出され、平成22年度一般会計補正予算を含め全議案について全員一致で可決した。

臨時会議案1 行政組織条例の全部改正

理事制を廃止、内部組織に部制を置き多様化する行政に機動的に対処する。**全員一致 可決**

◎市長部局 **赤字=新設 青字=名称変更**

市長 副市長	総務部長	総務課長 財政課長 管財課長	郷ノ浦庁舎(本庁)
	企画振興部長	政策企画課長 観光商工課長	
	市民部長	市民福祉課長 こども家庭課長 保護課長 税務課長	
	保健環境部長	健康保健課長 環境衛生課長	芦辺庁舎
	農林水産部長	農林課長 水産課長	石田庁舎
	建設部長	建設課長 上下水道課長	勝本庁舎
	病院部長	病院管理課長 (市民・かたばる病院)	市民病院
	消防本部消防長	総務課長 予防課長 警防課長 消防署長	消防本部

※ 農業委員会委員の推薦

市長より、農業委員会に関する法律に基づき、議会から学識経験者4名を推薦する旨依頼があり、次の方を推薦した。

芦 辺 町 富田英司さん 石田町 柳川信行さん
郷ノ浦町 山本由紀江さん 勝本町 米倉美智子さん

臨時会議案2 医学修学資金貸与条例

将来、市長が指定する医療機関等に医師として勤務しようとする者に、大学修学のための入学金と月額20万円を無利子で貸与するもの。

全員一致 可決

臨時会議案3 医療技術修学資金貸与条例

将来、市長が指定する医療機関等に医療技術者として勤務しようとする者に、専門技術習得のため月額10万円を無利子で貸与するもの。

全員一致 可決

臨時会議案4 H22年度一般会計補正予算(第5号)

国のきめ細かな交付金事業等として約3億7,000万円が交付決定したことから事業内容を決め予算化したもの。

全員一致 可決

○庁舎改修等	6,154万円
○勝本かざはや施設改修工事等	1,799万円
○瀬戸浦公衆トイレ建設工事	4,500万円
○壱岐出合いの村施設修繕等	2,800万円
○漁港・港湾施設改修	2,340万円
○サンドーム屋内競技場上屋改修	1,000万円
○市道局部改良、維持補修	1億1,030万円
○市道排水路整備	4,020万円
○河川整備	300万円
○市営住宅法面保護	1,200万円
○学校施設改修等	9,479万円
○ふれあい広場トイレ水洗化等	7,084万円
○保育所施設等改修	6,242万円
○郷ノ浦・石田図書館図書購入	230万円
○子宮頸がんワクチン等接種委託	455万円
○幼稚園舎等改修	195万円

3月定例会 平成22年度各会計補正予算額一覧

※3月定例会に出された補正予算について、各所管の委員会へ付託し審査した結果、各会計とも原案可決とし、平成22年度の予算総額は351億円を上回った。**全員一致 可決**

会 計 名	3 月 補 正 予 算 額	補正後の平成22年度予算額
一般会計(第6号)	4億5,171万円	252億249万円
国民健康保険事業特別会計(第3号)	1億370万円	47億5,053万円
老人保健特別会計	0円	140万円
後期高齢者医療事業特別会計	0円	3億1,267万円
介護保険事業特別会計(第3号)	7,000万円	29億2,607万円
簡易水道事業特別会計(第4号)	△250万円	9億2,814万円
下水道事業特別会計(第4号)	△1,050万円	3億3,315万円
特別養護老人ホーム事業特別会計(第3号)	△3,872万円	4億7,649万円
三島航路事業特別会計(第2号)	0円	1億2,156万円
農業機械銀行特別会計(第1号)	0円	1億3,439万円
平成22年度予算総額	5億7,369万円	351億8,689万円

委員会レポート

予算特別委員会

委員長：瀬戸口和幸

副委員長：久保田恒憲

委員：全議員

(議長・オブザーバー)

委員会審査状況

(定例会付託議案)

一般会計について、平成22年度補正予算及び、平成23年度予算を3日間にわたり審査を行い、一部条件を付して可決とした。

【委員会の審議内容】

①職員扶養手当について、受給資格認定は職員の自覚はもちろんのことだが、職員への要件の具体的な提示等の必要性を指摘。

②公有財産は、必要性を十分検討の上購入し、また遊休地についてはその活用と処分について計画的かつ早急に取り組むべき。

③ケーブルテレビ施設の運用、特に設備の維持管理については市と指定管理者との間で責任分担が明確になる協定を結ぶべき。

④東日本大震災に鑑み、吉岐市のハザードマップ(災害予測図)を見直すべき。

⑤老人憩いの家等、バリアフリー化は計画的に実施すること。

⑥認定漁業者制度は、漁業者の支援とともに後継者の確立につながるような制度の構築を。

⑦中学校の統廃合に伴う教育用のパソコンリース料の精算金について、契約内容等を明らかに精査した後、その執行に当たっては適切に措置するよう条件を付した。



3/14・16・18の3日間、開催された予算委員会の様子

総務文教常任委員会

委員長：町田 光浩

副委員長：市山 和幸

委員：市山 繁、中田 恭一

深見 義輝、音嶋 正吾

委員会審査状況

(定例会付託議案)

議案10件の付託を受け、審査の結果、全議案を可決とした。

※行政組織の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

部制施行に伴う関係条例の名称変更を行う。

※附属機関設置条例の一部改正

博物館の開館に伴い一支部博物館等整備推進協議会を廃止し、老

人保健福祉計画を高年齢者福祉計画へと変更。

※特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償条例の一部改正

農業法の改正により農業委員報酬を改定。また

中学校規模適正化に伴い、生徒数に応じて学校医等の報酬を二段階に改正。

※市職員の給与に関する条例の一部改正

休日・夜間救急手当の支給対象と支給額を見直す。

※防災行政無線施設条例の一部改正

ケーブルテレビの整備により防災行政無線の一部を廃止するため改正。

※土地の取得について

原の辻遺跡の新たな国指定区域の土地を取得。

※平成23年度三島航路事業特別会計予算

歳入歳出予算総額1億2千374万円

議会改革検討特別委員会

吉岐市議会の改革

に関する調査をする

ため特別委員会を設置し、実効性のある

議会基本条例の制定

や、議員定数の見直し、ケーブルテレビの

議会中継のあり方等

について審議する。

委員長 小金丸益明

副委員長 町田 光浩

委員 町田 正一

今西 菊乃

市山 和幸

鶴瀬 和博

久間 進

厚生常任委員会

委員長：町田 正一
副委員長：今西 菊乃
委員：小金丸益明、神原 伸
中村出征雄、豊坂 敏文

委員会審査状況

(定例会付託議案)

議案15件の付託を受け、審査の結果、議案14件を可決し、1件を否決とした。

【委員会の所見】

※市民病院及びかたばる病院診療費、使用料及び手数料徴収条例の一部改正を否決
(否決理由)

条例改正の内容は「分娩料」について、県内各医療機関が時間内

診療の外に時間外・休日・深夜等に別料金を設定しているの、市民病院も同様に分娩料金に別途料金を新設するというもの。これについては、出産一時金の補助額が39万円を42万円にアップされるため、出産費用も個人負担がない様にこの範囲で改訂されたい。

時間内と時間外（休日・深夜含む）の区分の別途料金設定については認めるものの、これも出産一時金の範囲とされた。ただし、別途個室を希望される方は、その範囲ではない。という意見を付して否決とした。

※国民健康保険特別会計予算について

問題は22年度に5.3%の保険料をアップしたにもかかわらず、基金は6億からさらに2億9千万円まで減少した。

理由は、所得低下によ

る保険料の減少と、高額医療費の増加であり、このままでは23年度中にも基金残高が0円になる事も予想される。

市民の方々も特定検診の受診等、是非予防医療に努めてもらいたい。

※介護保険料について

本市の介護保険料は県内でも低い方である。これは介護を実施する施設そのものが少ないためであるが、24年度の改訂時には保険料アップはやむを得ないと思われる。

産業建設常任委員会

委員長：鶴瀬 和博
副委員長：久間 進
委員：瀬戸口和幸、大久保洪昭
田原 輝男、呼子 好
久保田恒憲

委員会審査状況

(定例会付託議案)

議案13件付託を受け、採決の結果、委員会の意見を付して全議案可決。

【委員会の所見】

本市の多くの公共施設や観光施設の管理運営については、多額の維持管理費がかかっている。今後は、多様化する住民ニーズにより効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上を図るとともに、指定管理者制度を導入し、経費の節減等を図らなければならない。指定管理者の選定に当たっては原則公募となっており、民間に出来るものは民間へ移行すべきだが、離島という背景や雇用の場としての役割も多く、こ

れまでの実績から非公募とする場合が多い。

また、制度導入により弾力性や柔軟性のある施設の運営を行うことが可能となり、その施設の利用に際して料金を徴収している場合は、得られた収入を本市との協定の範囲内で管理者の収入とすることができ、施設の修理や費用負担など協定内で細かく制定する必要がある。

管理者指定後は、経営状況など随時報告を受け、経営改善に向け、訪問指導に努められたい。

認定漁業者制度は、基幹産業である水産業の振興と、効率で安定した魅力ある漁業経営を目指す意欲ある漁業者を積極的に育成するために創設されるもので全国初の制度。今後、各漁協、関係機関と十分協議をされ、早急に制定すべき。

現地視察・調査

(イルカパーク)

ゴミなど誤飲によりイルカが死亡し現在、3頭しかおらず、原因解明と対策が急がれる。あわせてイルカの早期購入と現状での魅力向上に向け、飼育スタッフと十分協議し、管理改善、情報発信に努力されたい。

その他、街なみ環境整備が進められている勝本浦の「あほう堀」及び、新郷ノ浦港線と荻田院圃場整備事業の進捗状況を視察した。



音嶋 正吾 議員



Q 長崎国体への取り組み

①国体競技開催招致を地方再生の起爆剤と位置付けるべき。市長の燃えたる熱意は如何に。
戦略的取り組みについて質す。

②国体準備室は教育委員会、社会教育課の下部組織である。戦略的取り組み上からも、市長部局直轄に格上げすべき。



長崎国体キャラクターの「がんばくん」

③本市の大会運営上の財政負担の試算金額について質す。

A みなぎる情熱をもって取り組み

市長

①全市民を巻き込んで、苓岐市の一体感を醸成する取り組みを期す。文化・産業・観光等、苓岐市の知名度アップを図る。

②綿密な連携を図り、現時点では教育委員会部局として対処するが、課としての格上げを検討する。

③自転車競技では2千700万円程度100%の補助率。ソフトボール競技は3千600万円程度で補助率は三分の二である。

Q 座して死を待つより打って出よ

市民病院は、開院以来連続赤字決算である。地方独立行政法人化に舵を切るべき。市民病院の経営形態を住民投票条例で市民に問うことも選択肢とすべき。市長の決断は。

A 憂慮している

市長

現状の累積債務、経営状況に対して大変憂慮しているが、住民投票は馴染まないと考える。

Q 補助金の交付基準

①各町老人会連合会補助金交付基準を質す。

②活動状況、政策評価を考慮した補助金交付を如何に反映させているか。

③生きがいを持って暮らせる高齢者福祉の充実を目指すべき。

活動実態に即した、公平公正な補助金交付すべき。

A 基準を見直す

市長

①現在補助金交付要綱を設けていない。旧町当時から活動を参考にして交付している。

②決算資料、活動報告書の提出を求め交付。

③老人クラブ活性化なくして、老人福祉の充実はないと考える。指摘事項を検証し交付基準を見直したい。

町田 正一 議員



Q 市民病院改革

①独立法人化を目指した長氏（元総務省地方公営企業経営アドバイザー）を委員長とする病院改革委員会の経営改革答申については見直すべき。

②国民健康保険は5.3%値上げしたにもかかわらず、更に基金は6億から2億



市民病院の処置室（救急患者が最初に運び込まれる部屋）

9千万円に減少し本年度で基金は底をつく状況。市民病院の役割を、予防・救急・訪問医療等に特化する考えは。

③現在の市民病院の救急体制と初期救急を担う民間病院の状況。

④市民病院の経営をどうするかではなく、苓岐医療圏全体の中でどうあるべきかを考える時期。地元医師会、市民病院、行政、議会が一体となつて平成19年9月に出された審議会の答申をたたき台に公設民営化を議論すべき時期である。結論を半年ぐらいで出す審議会を考える事が必要。

A 新たな一歩を

市長

①病院改革が進んでいない事は謙虚に認める。

長委員長の答申については評価している。

しかし、九大第二外科は「苓岐市等から受けた仕打ちは＊トラウマだ。苓岐市に医師の派遣はできない。」とはっきり言われた。よって九大との交渉では、独法の理事長招聘は不可能。

②市民病院の役割について議論する時期に来ているが、一般外来を止める状況にはない。

③市民病院と光武病院を二次救急としているが、実状は初期救急まで含めている。年間1千501人の救急患者のうち市民病院835件、光武病院492件、その他174件で受入。

現在市民病院の救急維持のため、非常勤医師の確保に年間3千840万円がかっている。

④提案を受け新たな一歩を踏み出す気持ちになつた。議会の協力をお願いする。

※心理的に大きな打撃を受け影響が長く残ること

瀬戸口和幸 議員



Q 生姜貯蔵施設の
利用

郷ノ浦町若松にある生姜貯蔵施設は、整備後25年が経つがほとんど有効

利用されていない。本来目的の生姜を貯蔵するか、イチゴ苗の低温貯蔵による生産コントロールをするか、その他作物の一時保管等による利用を促進し、農業振興の面から本施設の活用を図るべきである。

A 研究・協議したい

旧郷ノ浦町で整備され



郷ノ浦町若松触の生姜倉庫

た施設であり、J A 壱岐市に管理委託している。

施設も老朽化しており、利用率も著しく低下している。J A 壱岐市と施設利用を協議したい。

Q 統廃合後の施設は

中学校の統廃合後、廃校となる6校の施設の利用の具体案の検討状況を問う。各校毎の利用案の概要と事後の手続等の進め方はどうなるのか。

A 地域の意見を

教育長

学校施設跡地等利用検討部会で検討頂いている。その上部組織である準備委員会の要望を教育委員会が取りまとめ、市長部局と協議段階である。各地域の要望、利用計画実施要領を作成して、地域活性化の拠点となるよう、市長部局、教育委員会で協議して方向性を示していきたい。

今西 菊乃 議員



Q 保育所・幼稚園

①120名以上の保育士を必要としているが満たしていない。現在の雇用条件での確保は困難ではないか。対策は。

②低年齢保育は多数の保

育士を必要とする。統合して園児数の調整が必要。幼稚園給食を行い、保育所の4歳5歳を幼稚園に受け入れれば、不足している0歳児預かりが可能である。今後の方針は。

った幼稚園・保育所の運営については、4月から新設する「こども家庭課」が幼保一元化の改革に取り組む。幼稚園給食は現在石田のみがやっているが、他と同様に廃止する事を昨年11月に保護者へ説明済。

A こども家庭課で対応

市長

Q 液肥対策

平成24年度より液肥が半分以上となる。今でも散布が半年待ちとなっている。需要があるのだから既存の施設を活用した対策を。

A 結論は厳しい

市長

液肥の問題と、し尿処理の問題とは別。農家の気持ちはわかるが、し尿処理と別に液肥をつくるとなると、コストや肥料成分の面から現在の価格では困難。結論は厳しいと言わざるをえない。



先生と楽しく遊んでるよ～!!

る。嘱託職員員の募集をして、いるが6名が不足。現在ハローワークを通じて無資格者の保育助手も含めて募集。②市民ニーズに沿

豊坂 敏文 議員



入しようというものであり、慎重に要綱を策定していく。

Q 光テレビ放映開始

- ①市道維持管理等の奉仕作業中の切断事故責任は。
- ②ソフトバンクと他局間の通話料金は。
- ③ソフトバンクの携帯電話の通信網の確立を。
- ④各漁協組合の放送は可能か。

Q 日本初

「認定漁業者制度」

漁業就業者の半数は70歳以上である。認定要件を70歳未満に緩和すべきであり、各組合の正組合員の就業日数90日以上とすべき。

A ただ今、進行中

市長

全国に先がけ新しく導



芦辺町つばさ横に拠点进行、市内各地にケーブルを接続

- ②必要なサービス申し込みをすると無料になる。
- ③ソフトバンクと難聴地域の改善について協議をしている。通信網については全国どこでも光を使うので同時につながる。
- ④FM告知放送の設備を入れるので、組合員への放送は

可能である。

Q 有害鳥獣被害状況と対策

イノシシ、シカ、リス、カラスそれぞれの被害状況と対策は。

A 情報提供を

市長

イノシシの生息数は不明であるが、しのび猟での捕獲、シカは約300頭が生息しておりハンターによる捕獲、リスとカラスについては、平成22年度の捕獲実績で、カラス3千17羽、リス6千585匹である。

Q 就労の場対策

魅力ある農漁村づくりの一環として、新規の市民力事業とその他の方策は。

A 農業を大事に

市長

市民力支援事業等で、農業の取り組みを考えている。市民のアイデアに期待したい。

久保田恒憲 議員



を御利用いただきたい。

Q 連絡協議会の設置を

市の活性化に欠かせないボランティアの方々との結束のため、市が取りまとめる協議会が必要だ。

A 前向きに検討

市長

各団体それぞれ目的の違いはあるが、互いの交流学習を深め、活動や課題を共有して、ともに協力し助け合うための連絡協議会の設置を前向きに検討する。

Q スクールバス利用

中学校統廃合で運行されるスクールバス等は、高齢者等も乗れる混乗方式にすべき。

A 趣旨に反する

市長

通学バスの趣旨を理解いただくとともに、高齢者はワンコイン乗車制度

Q 博物館入館料の統一

島外来館者が高いのは失礼。おもてなしの心に反する料金設定は即時撤廃し、同一料金とすべし。

A 市費投入を考慮

教育長

入館料は、市の規則で指定管理者の提案を受けて市が承認し



一支国博物館の受付案内

設定された。市費を投入して整備した博物館なので市民を優遇。差額分は、リピーター確保や情報発信広報PR事業に還元されている。

Q 建国記念日の取り組み

建国記念日、独立記念日、革命記念日と呼び方は違うが、各国でその国の成立記念の日を定めている。小中学校の義務教育の場での取り組みは。また、市としての取り組みも無いが、今後の方針は。

A 各自で取り組みを

市長

子どもたちの情操教育の観点からも国を愛する心を養うことは大変重要であるが、現在市として特別な行事などは無い。

教育長

子どもの発達段階に合わせ、祝日の前に自分の郷土、吉崎や国の歴史、伝統文化に目を向けさせるなど、事前指導を行っている。

榊原

伸 議員



◎ 発展させよ観光

①観光案内板について、都会の高速道路への案内標識のように、今の大きな看板の中に「支国博物館」への案内を入れるべき。

②観光案内所の場所は、誰にでも解り易いように



郷ノ浦港にある壱岐市観光協会

すべき。

③開所予定の福岡事務所では、九州新幹線鹿児島ルートと全線開業を利用して博多駅に絞って宣伝活動をすべき。

④観光の目玉として、石田町の松永安左右衛門翁の実績と功績をもっと世に広め、松永翁と関わりのある電気関係の事業所、長崎県、他の自治体へのアプローチが必要ではないか。

◎ 情報発信を工夫する

市長

①道路の看板については景観を損なわないように県と協議をする。

②壱岐を売り出すように観光協会と協議して工夫する。

③九州新幹線で博多駅を利用する人は多いので、福岡のすぐ先に

壱岐があるという宣伝も大事。

④松永安左右衛門翁は、日本を代表する実業家である。もっと壱岐出身者ということを経営発信したい。

◎ 今後の下水道事業

①下水道加入率と今後の取り組みはどのようにされるのか。

②芦辺地区の漁業集落排水整備の現状と今後の取り組みはどうなっているのか。

◎ 70%を目指す

市長

①郷ノ浦の公共下水道は計画の見直しをし、南部処理区の一部(壱岐高校の上側)を中央処理区に取り込む。

②瀬戸地区は、平成23年度供用開始を予定、芦辺地区においては、地元ともう少し協議をしたい。

③どちらの下水道事業についても加入率70%を目指す。

鵜瀬

和博 議員



◎ どうなった定住促進

①平成22年3月一般質問で市長は、平成22年度中に総合的な就業対策と住居対策を合わせた定住促進策を検討し、対象者拡大を充実していきたいと答弁。その後の進捗状況は。

②平成22年国勢調査では本市人口が3万人を割った。施政方針では今後関係機関と連携し、人口歯



観光地として展望を開きたい湯ノ本地区

止めに努力するとあるが、具体策は。

③独身単身専用の政策住宅として県営田の上住宅の活用を。

◎ 具体策がない

市長

①島外通勤通学者交通費助成を創設しただけで具体的には何も進んでいない。

②新たな定住促進策を23年度は掲げることができてない。具体策が出来ればすぐに予算化したい。

③県営住宅の活用を県と協議し、政策的に試験的にでも実施したい。

◎ 閉校後の活用は

①統廃合準備委員会の協議経過及び結果は。

②閉校後の管理はどうするの。

③芸術文化の新たな発信基地やサテライト大学としての活用は。

④休止中のサンドーム壱岐やリニューアル予定の壱岐島荘、特別養護老人ホームを含めた湯ノ本地区の展望は。

◎ 協議中

教育長

①渡良・沼津・初山中は、地区民センター、道の駅、カルチャーセンター、学童保育として、鯨伏中は、体育館運動場を鯨伏地区民の施設として、箱崎・那賀中は校舎一部利用と体育館、運動場を教育委員会管理として、運動場にナイター設置を要望。今後の活用は市と協議し活用計画を策定する。

市長

②体育館、運動場は社会教育への移管、その他学校施設管理は教育委員会。

③統廃合準備委員会の要望を尊重し、保護者、地区、公民館と協議し、時間をかけて有効利用と要望に応えたい。また、空き施設は長崎大学等と積極的に連携を図り、その研究成果を地域の課題解決や施策へ反映したい。

④名案はないが、温泉とすばらしい眺望に加え、他の観光施設と連携する形で今後も魅力向上に努める。

市山

繁議員



Q 雇用の創出

吉岐島には男性の雇用の場が少なく、男性雇用につながる公共事業の拡大と、農水産商工業との連携・強化、新分野の進出支援策は。

A 強く要望

市長

公共事業予算確保について国県へ強く訴えている。農水産商工業との連携も重要な施策であり、県の政策に呼応する形で考えていく。

Q 民間業務委託

全国的に経費節減等専門的雇用サービス面から、民間業務委託をしているが市の取り組みは。

A 積極的に取り組む

市長

公共事業で雇用の場を



Q 超過勤務の状況について

① 職員の削減で、

現在15の施設で指定管理を行っているが、離島地域であるため民間委託が進まない。特別養護老人ホームは民間で十分やれると思う。これらも積極的に取り組む。

職場のサービス低下及び超過勤務が増加していないか。

② 超過勤務の労働時間の規定と業務管理は。

A 削減に努めている

市長

① 職員の削減によってサービスの低下を招いてはならない。削減に比例して時間外勤務が増えていることはない。

② 年間240時間を超えないように努め、上司の決裁により実施。

Q 梅屋庄吉・孫文

中国の革命政治家・孫文を物心面で支援した梅屋庄吉の妻が勝本町出身である。県の辛亥革命100周年事業に市としての協力は。

A 県と連携

市長

積極的に県と連携して情報発信に努め、交流人口の拡大に繋げたい。

呼子

好議員



Q 獣医師の確保

① 肉用牛の振興とあわせて獣医師の確保は重要である。獣医師定員11名に8名、業務が多忙で農家への対応が遅れる。獣医師の健康問題もあるので増員対策を。

A 確保に努める

市長

② 獣医師修学資金貸与の増額を。現在年額26万8千円を月額10万円に増額し、学生・学校に周知を図り後継者育成を。

Q 県道整備早急に

① 郷ノ浦・渡良浦線は残り40m、郷ノ浦・初瀬線は9割が未整備。危険な箇所から早期整備を県に強く要望してほしい。

② 大災害発生時の折、建設業者との支援体制の協定は出来ているか。

A 精力的に陳情

市長

① 地区公民館からも要望書が来ており、本路線はバス路線でもあり見通しも悪く、要改良路線との認識はあるが、県単独事業で局部的な改良を検討しているとの回答を受け、精力的に陳情を行う。



診察中の獣医

効率化を図る。

② 医師・看護師等の修学資金に比べ安いので研究したい。県の獣医師修学資金制度についても周知を図る。

③ 臨床研修等に職員を派遣して、診療技術の向上を図る。

中村出征雄 議員



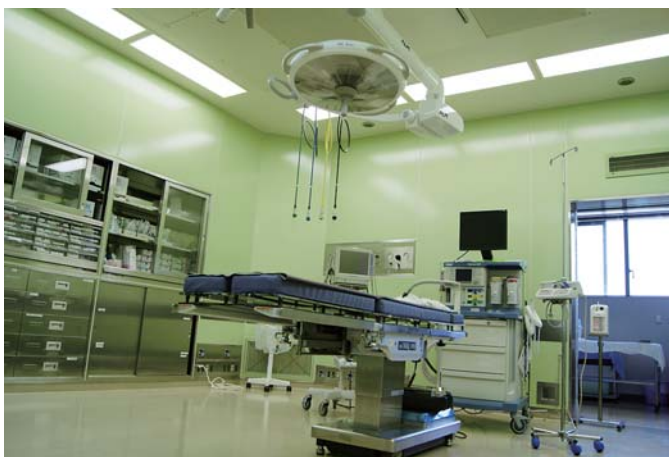
Q 病院改革の方向性

①長崎県病院企業団の旧離島医療圏組合加入の9病院の医師数は、平成20年5月1日現在102名であったが現在は何名か。

②平成23年度予算について、一般会計繰入金金は4億9千万円で1億5千万円の赤字計上。年度末の累積赤字は21億8千万円の見込みで、数年後には30億円近くの累積赤字になるのでは。

③杵岐市民病院の方向性について、長崎県病院事業団に直ちに加入し改革すべき。

④職務に応じた給与格付をわたり運用している病



市民病院の手術室

院職員給与構造を早急に改革すべし。

⑤齋藤市民病院顧問の、病院改革の最終的なまとめ、提言等はいつ頃になるのか。

A 憂慮すべき状況

市長

①平成22年12月現在、89名で13名の減。医療圏組合所属の医師は把握していない。

②経営形態の変更など抜本的な改革を行わない限り、この状況は続くと思われる。

③財産の移譲や責務の問題など調整すべき事項が多い。慎重に考えたい。

④職員給与の見直しは重要な課題。職員組合とも話し合っていきたい。

⑤現在も指導・助言を頂いており、適宜指導を受けるようにしていくため最終的助言等、特に期限は決めてない。

久間 進 議員



Q 三島に診療所を

三島地区は高齢化に伴い、独居・2人暮らしの方々にとってはフェリーでの通院等が困難である。

A 開設したい

市長

特に大島は、65歳以上の高齢者が50%を占めており診療所の開設が急務である。医師の確保については光風に、施設については漁協の有休施設をそれぞれ内諾を得ている。まずは週1回の出張診療の開設を。

持のため、健康相談・健康教育・保健指導・介護予防事業等を行っている。診療所を開設する事により三島の方々の医療の安全安心に医師確保がクリアすれば、離島振興法による無医地区を無くす観点から実現したい。

Q 待合所の改善を

現在のフェリーみしま

待合所はテレビ空調設備が整い若者には申し分ないが、高齢者や病人にとっては3時間以上の待ち時間の時は、イスでは横にもなにくく大変。待合所の一部に畳スペースの確保はできないか。

A 設置を検討する

市長

高齢者向けの待合室の必要性は感じている。みしま航路は、国県の補助事業であり協議の上、設置を考えたい。



フェリーみしま待合所

原子力発電所の更なる安全性の確保を

求めるための意見書

今回のマグニチュード9.0の地震による東京電力福島第一原子力発電所の大規模な事故は、27kmの距離に九州電力玄海原子力発電所を控える市民としては、到底看過することのできないものである。

「原発は安全である。」という神話は、完全に崩壊したと言わざるを得ない。予想の範囲を超えた事態とか、数百年に一度の地震というのは、現実になっている悲劇に目を背けようとするものである。もちろん一方で原子力発電の必要性は認めるものの、政府におかれは次の様に対処される事を望むものである。



玄海原子力発電所と佐賀市との位置を確認しておこう。

1. 九州電力が管轄する玄海原子力発電所について、想定している地震の規模と安全性の情報公開。
 2. 原子力発電所設置は、当該市町村と隣接する自治体の同意のみが要件である設置条項を改訂されたい。(少なくとも、事故の被害が予測される30km圏内の自治体の同意を必要とする。)
 3. 原子力発電所の安全性と被害の補償は、すべて国の責任である事を明確にし、安全基準の改定と既存施設の安全性の見直しを求める。
 4. 国民保護法に則った、国民保護計画の見直しを求める。
- 以上地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。
- 平成23年3月18日
長崎県佐賀市議会
内閣総理大臣外、関係機関へ
送付した。

市民の声

議会だよりクイズの応募の中で、お寄せいただいたご意見やご感想をご紹介しますコーナーです。

高校生のフェリーは無料にしてほしい。
16歳

1年を過ぎた博物館の入場者減の報道、島国であるためどうしてもオフシーズンの観光客の来島が減るのは当然である。では、地元のリピーターを増やす策、子ども達のキッズコーナー春夏冬休みに、科学館や宇宙館等、子ども達に関心を持つようなことを少しずつ取り入れていくと、今日は、今週は、今月は何があるよと親子で行くようになるのでは。我々も何回も行ったけど変わり映えがなく残念。
60歳

一支国博物館によって、観光客はどのくらい増えて、今の状況はどうですか??
12歳

平成22年の観光客数を推測する指標(九州郵船とORCの乗降客)では0.7%の減ですが、高速道路無料化や口蹄疫等で離島の観光産業に影響を受けたにもかかわらず減少率がそれとどまったのは、一支国博物館の効果があつたようです。

議会だよりが届くのを楽しみに待っております。狭い佐賀でも今のような事が話題になっているのか、又自分達が知らない情報を見聞出来とても嬉しいです。クイズも楽しみになります。
75歳

チューリップ畑(郷ノ浦町庄舄)

八幡保育所のおともだち



りーちゃん

正解マル!!

はーちゃん



おめでとう
パチパチ!!



待ってるよ
ピース!!

ゆうちゃん

第8回クイズの答え

① 壱岐島荘 ② TPP ③ 子ども議会
 応募総数15人で全問正解者は10人でした。ご応募ありがとうございました。

～ 第8回クイズの当選者 ～

長岡大紋様 岩井英里香様
 北島のぞみ様 谷本夢羽様
 吉富純子様 (順不同)
 おめでとうございます!

クイズに答えて

図書カード (1,000円)
 が当たります。皆さんの
 ご応募待ってまーす☆

クイズ 次の問題に答えよう

- その①** 平成23年度に草スキー場ができる公園の名前は?
- その②** イルカパークに新しく購入するイルカは何頭?
- その③** 壱岐に生息するシカは約何頭くらいかな?



ヒント この議会だよりの中に答えがありますので、最初から最後まで読んでみてください。

《応募方法》クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキでご応募ください。
 議会だよりを読んだ感想や、議会へのご意見等もお書き添えください。
 ご意見等は、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。
 正解者の中から、抽選で5名の方に図書カード 1,000 円分をお贈りします。

(当選者の発表は次号に掲載)

《あて先》〒 811-5521

壱岐市勝本町西戸触 182-5
 壱岐市議会事務局 宛

《しめきり》平成 23 年 5 月 31 日 (当日消印有効)

《個人情報の取り扱いについて》ご記入いただきました個人情報は、賞品発送・当選者発表および『市民の声』等の目的以外には利用いたしません。



6月定例会は
 6月10日(金)
 開会の予定です。
 ケーブルテレビで
 議会中継も
 始まるよ。

議会広報特別委員会
 委員長 音嶋正吾
 副委員長 榊原 伸
 委員 中田恭一
 委員 鶴瀬和博
 委員 町田正一
 委員 呼子 好

(音嶋正吾)

天変地異とは脅威に尽きる。東北、関東地方を襲った大地震は、国内観測史上最大級の超巨大地震であり未曾有の甚大な被害をもたらしました。
 多くの尊い人命・財産を一瞬の内に奪い去りました。
 震災により、お亡くなりになられた多くの皆様に対し、心からご冥福をお祈り申し上げます。また、被災地の復興には困難を極めることが予測されますが、一日も早い復興を心から願っています。
 この悲しみを胸に我々は新たな旅立ちを誓うべきであります。
 親子の絆とは何か。命とは何かを直視して問うべきではないでしょうか。
 国民および、地域住民すべてが慈愛の心を育む必要性を感じ得ません。
 私たち議員は、「思いやりのある政治、足で歩く政治、考える政治」そつした市政の推進に真摯に取り組んでまいります。
 市民の皆様の率直なる声をお寄せください。

編集後記

○編集 議会広報特別委員会

〒 811-5521

長崎県壱岐市勝本町西戸触 182-5

TEL : 0920-42-1111

FAX : 0920-42-0096

【E-mail】 iki-gikai@city.iki.lg.jp

【URL】 http://www.city.iki.nagasaki.jp

○公職選挙法の規定について

お中元・お歳暮や、祝儀・見舞い等の金品を送ることや、暑中見舞い・年賀状などの挨拶状や有料の広告は禁止されております。

市民みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

壱岐市議会議員一同

お知らせ

壱岐市ホームページ

(<http://www.city.iki.nagasaki.jp>) の市議会のインデックス(見出し)を検索すると、市長行政報告および議員の一般質問の音声を生で聞くことができます。また市議会会議録は、議会事務局・市役所本庁(総務課)・各庁舎(市民生活班)・各図書館で閲覧できます。ご利用ください。